

TOTO

アクアオート サーモスタット混合栓

TENA126型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1.1

安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

- この説明書では商品を安全に正しく取り付けただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があることを示しています。



⊘ は、してはいけない「禁止」内容です。左図は、「分解禁止」を示します。



ⓘ は、必ず実行していただく「強制」内容です。左図は、「必ず実行」を示します。

警告

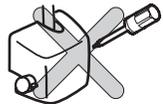
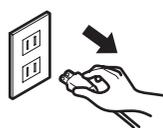
| | | |
|----|---|--|
| 禁止 | AC100Vタイプ ガタついているコンセントは使わない 火災や感電の原因になります。 | |
| | AC100Vタイプ 電源プラグや機能部に水をかけない 火災や感電の原因になります。 | |
| | AC100Vタイプ 指定する電源 (AC100V) 以外では使用しない 火災の原因になります。 | |
| | AC100Vタイプ コンセントや配線器具の定格を超える使い方をしない たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。 | |

警告

| | | |
|--------|--|--|
| 禁止 | AC100Vタイプ 電源コード・電源プラグが破損するようなことをしない 傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、挟み込んだり、加熱したりしない 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。 | |
| | AC100Vタイプ 電源コードの加工 (切断・継ぎ足し) を行わない 火災や感電の原因になります。 | |
| | 湯水を逆に配管しない 水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。 | |
| 接触禁止 | 給湯温度は85℃より高温で使用しない 85℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して、やけどをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。 | |
| | AC100Vタイプ ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない 感電の原因になります。 | |
| 水場使用禁止 | AC100Vタイプ 雷が発生しているときは、電源プラグに触れない 感電の原因になります。 | |
| | 浴室など湿気の多い場所には設置しない 故障や感電の原因になります。 | |

1-2

警告

| | | |
|---|---|--|
|  分解禁止 | 分解したり、修理・改造は絶対に行わない 火災や感電の原因になります。 |  |
|  必ず実行 | AC100Vタイプ コンセントの位置は、床から100mm以上の位置に設置する 火災や感電の原因になります。 |  コンセント 100mm 以上 |
| | AC100Vタイプ 電源プラグを抜くときは、必ずプラグ本体を持って引き抜く コードを引っ張るとプラグやコードが傷んで、火災や感電の原因になります。 |  |
| | AC100Vタイプ 電源プラグは根元まで確実に差し込む 火災や感電の原因になります。 |  根元までしっかりと！ |
| | AC100Vタイプ コンセントや電源プラグに給水管などの結露水や使用時の水滴がかからないよう、コンセント取付位置や防水コンセントの使用など配慮すること 火災や感電の原因になります。 |  防水 コンセント |

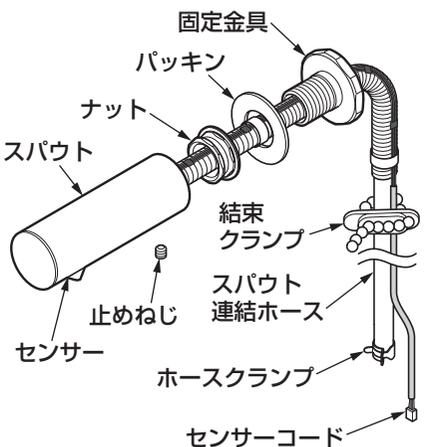
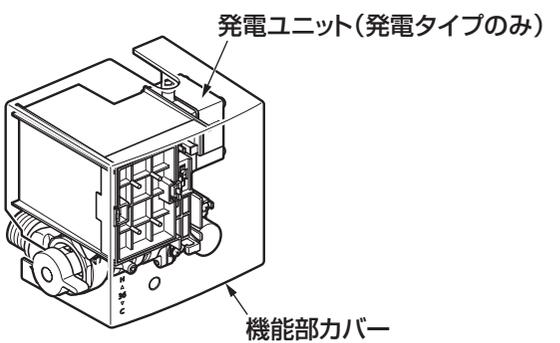
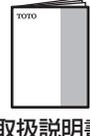
注意

| | | |
|---|---|--|
|  禁止 | 強い力や衝撃を与えない 破損して、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。 |  |
| | 屋外や凍結が予想される場所に設置しない 部品が破損し、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。 |  |
|  必ず実行 | フィルターの掃除をする際は、いきなりふたをゆるめず、必ず止水栓または元栓を確実に閉めてから行う また、湯側フィルター部が熱くないことを確認する 高温の湯が出てやけどをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。 | 止水栓  閉める |

2

部品の確認

次の部品があることを確認してください。

| | | |
|---------|--|--|
| スパウト部 |  | |
| 機能部 |  | |
| 給水・給湯脚部 |  フィルター付き止水栓 (パッキン付き) フランジ | その他  施工説明書  開閉工具  取扱説明書 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;"> 必ずお客様にお渡しください </div> |

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

3 取り付け前に

1. 給水圧力の確認

- 給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。
- 給水圧力範囲は、0.05(発電タイプは0.06)~0.75MPaです。この圧力範囲内でご使用ください。
- 給水圧力が0.75MPaを超える場合、市販の減圧弁で0.2~0.3MPaに減圧してください。快適に水栓をお使いいただくためには、0.2~0.3MPa程度の水圧をおすすめします。

2. 給湯温度の確認

- やけど防止のため、約45℃以上の湯は出ないようにしています。適切な吐水温度や吐水量を確保するために60℃給湯をおすすめします。

3. 配管・配線について

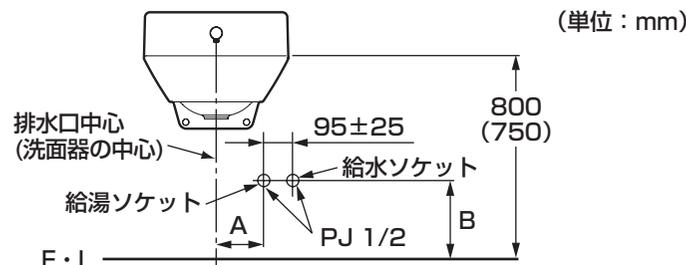
- 給湯機からの給湯管は抵抗を少なくするために最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。
- AC100Vタイプの場合、電源はAC100V(50/60HZ)、**最高消費電力は5W**です。必ずこれに適した配線をしてください。
- 発電タイプは電源工事不要です。

4. その他

- センサー面を傷つけないよう十分にご注意ください。
- インバーターや赤外線を用いた他の機器により誤動作することがあります。
- アクアオートは屋内用ですので、屋外では使用しないでください。
- 梱包前に通水検査をしていますので商品内に水が残っている可能性があります。商品には問題ありません。
- 取り付ける陶器、カウンターにあわせて排水金具、バックハンガー取付金具、ブラケットが必要になります。設計施工資料集にてご確認のうえ、別途お求めください。

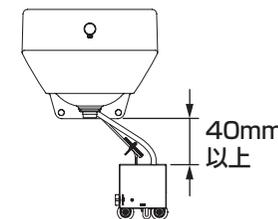
5. 給・排水取出し位置について

- 洗面器、カウンターの品番により取付寸法が異なります。詳細は、下表を参考のうえ、取り付けてください。
- 本商品は下記洗面器、カウンター専用の自動水栓です。他の洗面器、カウンターには取り付けできません。
- 取付穴径の異なる洗面器やカウンターには取り付けないでください。商品と取付穴にすき間が発生し、取付穴から水漏れするおそれがあります。



| アクアオート 商品品番 | 取り付け可能 洗面器品番 | A | B | 取付穴径 |
|------------------------------|--|-----|--------------|------|
| TENA126型 (ニューラバ・ITEM01専用) | LS125D・DM LS135D・DM MLWD・E MKWD・E MDWD・E | 100 | 350 (300) | φ23 |

- 上記給水・給湯高さBは洗面器あふれ面高さが800mmのときの寸法です。
()内の寸法は洗面器あふれ面高さが750mmのときの寸法です。洗面器の設置高さに応じて給水・給湯高さBを変更してください。
- メンテナンスのため、機能部上部に40mm以上のスペースを必ず確保してください。
- 陶器と機能部が干渉する場合、取付脚(別売品：TN75-1型)をご利用ください。



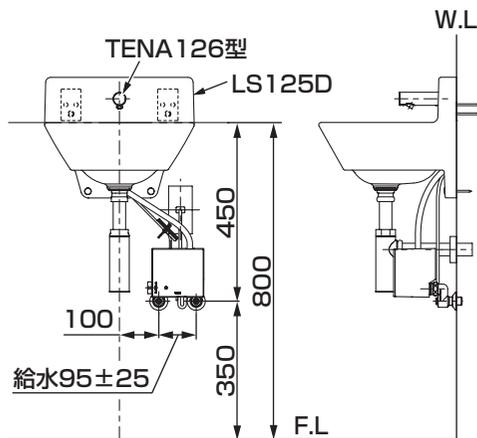
4 仕様

| タイプ | | AC100Vタイプ | 発電タイプ |
|----------------------|--------------|--|---------|
| 電源電圧 | | AC100V 50/60Hz | 電源不要 |
| 消費電力 | 待機時 | 0.4W (最大値3W) | |
| | 動作時 | 0.6W (最大値5W) | |
| 給水圧力 | 最低必要水圧 (流動時) | 0.05MPa | 0.06MPa |
| | 最高水圧 (静止時) | 0.75MPa | |
| 給湯温度 (サーモスタット混合栓の場合) | | 60~85℃ | |
| 使用可能水質 | | 水道水および飲用可能な井戸水 | |
| 使用環境温度 | | 1~40℃ | |
| 感知距離 | | 学習方式による感知距離変化型 (セットアップされる陶器により、自動で感知距離を設定します) | |
| 電源コード長さ | | 0.75m | — |
| センサーコード長さ | | 約0.8m | |
| 吐水流量 | | 2L/分 定流量弁内蔵 | |
| 給水接続 | | PJ 1/2 | |
| 用途 | | パブリックおよび一般住宅洗面所用 | |

5 完成図 (例)

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。洗面器の品番、図面をご参照ください。

LS125D+ TENA 126型の場合



(単位：mm)

6-1 施工手順

2 スパウトの取り付け

センサーコードおよびスパウト連結ホースを洗面器と壁の間にかみ込まないように注意すること。

9 センサー内ランプの確認

クランプで結束すること。ホースが折れ曲がりのないよう注意すること。

7 コネクターの接続

3 給水・給湯脚の取り付け

4 機能部の取り付け前に 給水管内の清掃

6 スパウト連結ホースの接続

1 機能部カバーの 取り外し

5 機能部の取り付け

10 機能部カバーの 取り付け

8 電源プラグの差し込み (AC100Vタイプの場合)

注意

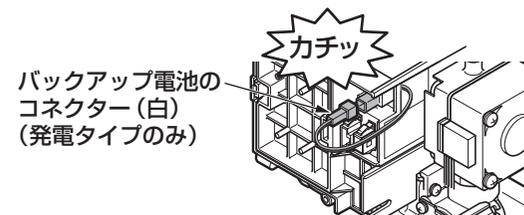
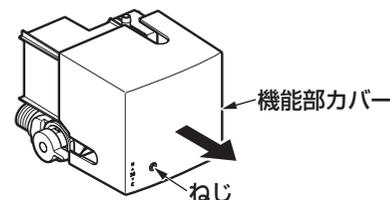
クリーンドライ (温風乾燥器) などのセットでは、クリーンドライのセンサー光が陶器内に入らないよう、それぞれを離してセットしてください。

1 機能部カバーの取り外し

- ① ねじをゆるめ、機能部カバーを手前に引く。
- ② 発電タイプの場合、バックアップ電池のコネクター (白) を「カチッ」というまで差し込む。

注意

発電タイプの場合、コネクターを接続後、機能部が作動可能になるまでに約3~5分かかります。



裏面へつづく

2 スパウトの取り付け

① 固定金具にパッキンを取り付け、洗面器（またはカウンター）の取付穴に裏側から差し込む。

② 洗面器（またはカウンター）の表面からナットを取り付け、固定金具を仮固定する。

注意

固定金具およびナットを取付穴の中央に取り付けてください。

③ 固定金具をスパナで固定し、表面のナットをスパナで回してしっかり固定する。

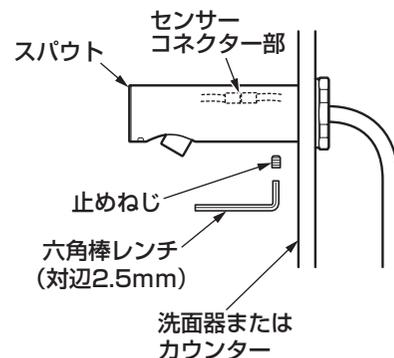
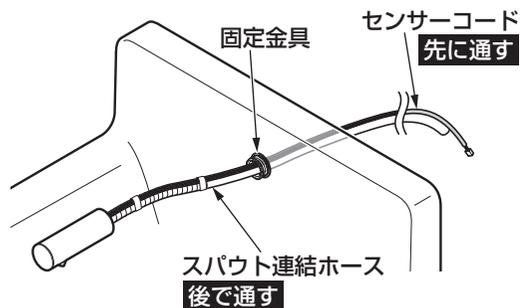
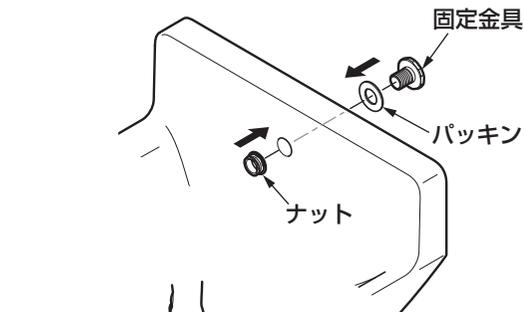
④ 固定金具にセンサーコードとスパウト連結ホースを通す。

注意

固定金具にセンサーコードを先に通したあと、ホースを通してください。

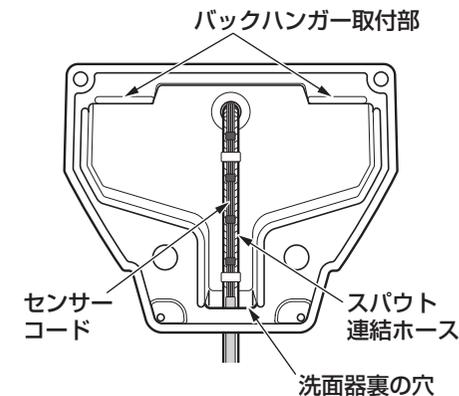
⑤ スパウトを洗面器（またはカウンター）面に密着させ、六角棒レンチ（対辺2.5mm）を使用して止めねじで固定する。

スパウトが洗面器（またはカウンター）に密着しない場合は、センサーコネクターをスパウトの上側の奥まで入れてください。



壁掛洗面器に取り付ける場合

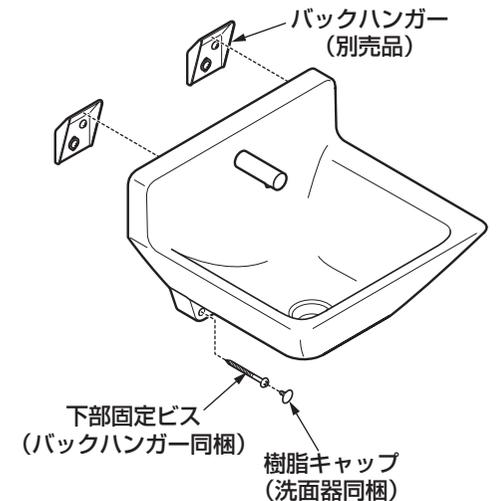
⑥ センサーコードおよびスパウト連結ホースを洗面器裏の穴に通す。



⑦ 洗面器をバックハンガーに取り付ける。

⑧ センサーコードおよびスパウト連結ホースのかみ込みがないか確認する。

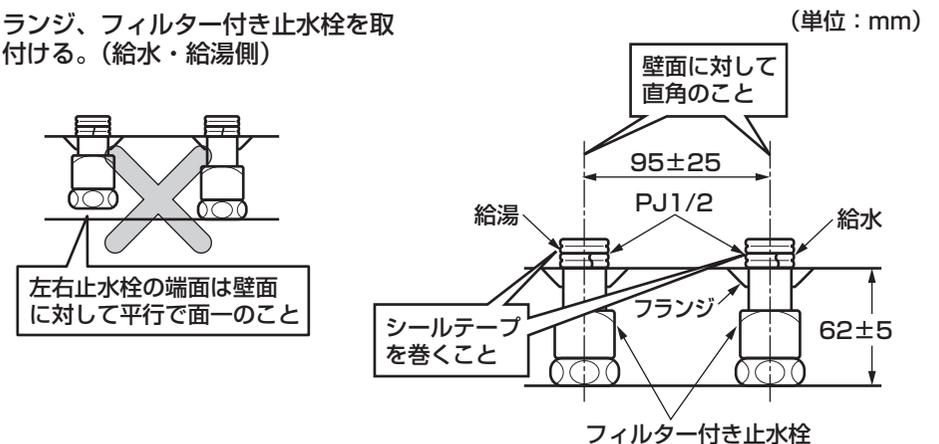
⑨ 下部固定穴に固定ビスと樹脂キャップを取り付ける。



※陶器形状は設置後容易に見えない部分において異なることがあります。（施工性やその他の機能に影響ありません。）

3 給水・給湯脚の取り付け

フランジ、フィルター付き止水栓を取り付ける。（給水・給湯側）



4 機能部の取り付け前に 給水・給湯管内の清掃

止水栓を取り付け、商品を取り付ける前に**必ず給水・給湯管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。**

重要

注意

給水・給湯管内の清掃を行わない場合、給水・給湯管内のごみ、砂などが駆動部やフィルターに詰まり、以下の事象が発生します。

①水が止まらない ②吐水量が少ない
給水・給湯管内の清掃は必ず行ってください。

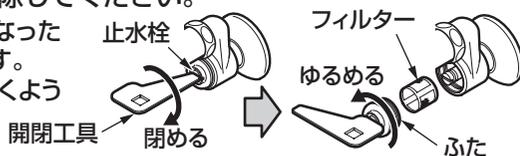
バケツなど水受けとなるものを準備し、壁や床に水が飛び散らないよう止水栓をゆっくり開き、給水・給湯管内のごみ、砂などを洗い流す。



フィルターの掃除

取り付け後は必ずフィルターを掃除してください。

フィルターが詰まると流量が少なくなったり、十分な機能が発揮されなくなります。また、お客様にも時々掃除していただくようにご説明願います。



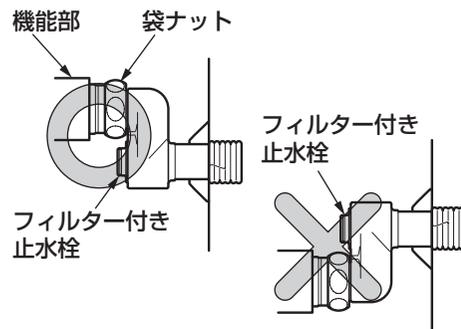
※フィルターを掃除する際は、付属の開閉工具で**止水栓または元栓を確実に閉めたあと、フィルターふたを外してください。**

5 機能部の取り付け

- ①フィルター付き止水栓の袋ナットにパッキンを取り付ける。
- ②機能部を取り付ける。

注意

- パッキンを必ず取り付けてください。
- フィルター付き止水栓は機能部の接続部が上になるように取り付けてください。
下になるとフィルターの掃除、および止水栓の調節ができません。

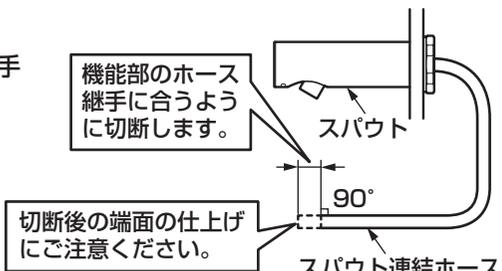


6 スパウト連結ホースの接続

- ①スパウト連結ホースを機能部のホース継手に合うように適切な長さに切断する。

注意

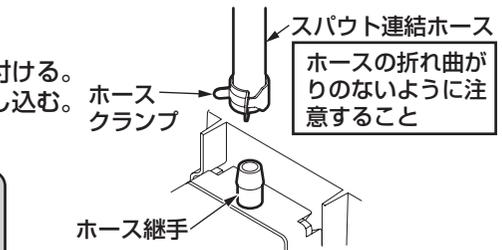
- ハサミなどを用い、切断面が垂直になるよう行ってください。
- スパウト連結ホースが長すぎると、折れ曲がりによる吐水不良のおそれがあります。



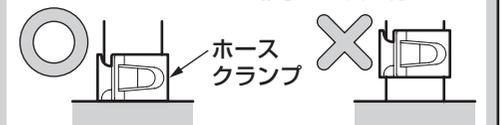
- ②同梱のホースクランプをホースに取り付ける。
- ③スパウト連結ホースをホース継手に差し込む。
- ④ホースクランプでホースを固定する。

注意

- スパウト連結ホースが確実に差し込まれているか確認してください。
- スパウト連結ホースが折れ曲がることのないように注意してください。
- ホースクランプは所定の位置にできるようにしてください。
- 必ずホースクランプでスパウト連結ホースを固定してください。



ホースクランプがホース継手の上面に付くこと

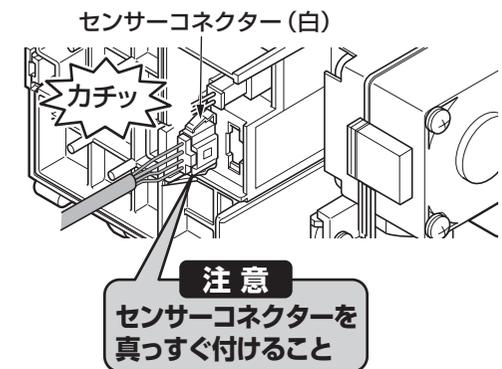


7 コネクターの接続

センサーコネクター(白)を「カチッ」というまで差し込む。

注意

<発電タイプの場合>
センサーコネクターが入るとただちに感知距離を自動設定しますので、センサーに手をかざしたり、陶器内に物を置いたりしないでください。(約20秒間でこの動作は完了します)

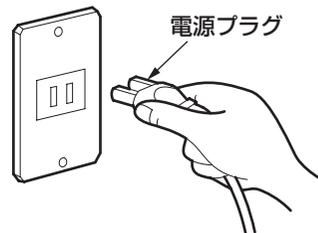


8 電源プラグの差し込み (AC100Vタイプの場合)

電源プラグをコンセントに差し込む。

注意

<AC100Vタイプの場合>
電源が入るとただちに感知距離を自動設定しますので、センサーに手をかざしたり、陶器内に物を置いたりしないでください。
(約20秒間でこの動作は完了します)



9 センサー内ランプの確認

センサーに手をかざしたり、洗面器内に物を置いたりしない状態で、スパウトのセンサー内ランプが点滅していないことを確認する。

※電源を入れて約10分後にランプの点滅は自動的に消えます。

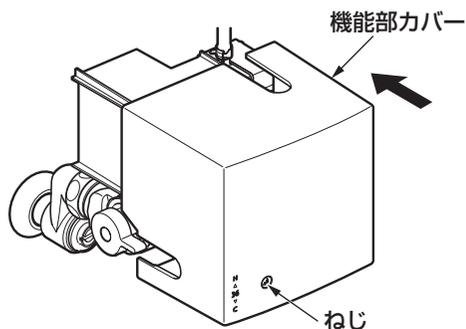


10 機能部カバーの取り付け

コネクタが確実に接続されているか確認したあと、機能部カバーを取り付ける。

注意

- 機能部カバーは確実に取り付けてください。
- 機能部の取り付け向きを確認してください。
- 機能部カバーを取り付ける際は、コードのかみこみに注意してください。



試運転および調節

1. 試運転

取り付けが完了したあと、次の方法で試運転を行ってください。

- ①水漏れの確認
止水栓を開き、給水・給湯脚やスパウト連結ホースの接続部から水漏れがないか確認してください。
- ②水を出す・止める
 - 吐水口に手を近づけると水が出ます。
 - 手を離すと約1～2秒後に水が止まります。
 - 手を約1分間連続して感知すると自動的に水は止まります。
(センサー感知は学習方式のため、手を動かさないでいると約15秒で水が止まります)
 - センサー前面から約2cmの位置に白い紙など反射しやすい物をかざしたままにすると、最大1分間水を出すことができます。
※洗面器内に水をためると、水の影響により感知する場合があります。

※正常に動作しない場合は、**各コネクタが確実に接続されている**か確認してください。

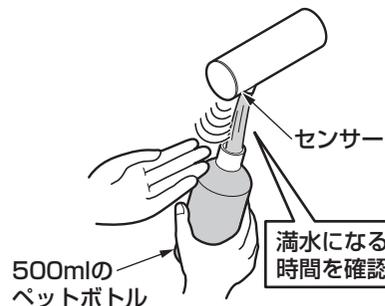
2. 吐水温度の調節

工場で適温(約36℃)に温度調節をしています。取付現場の圧力状況などによって、所定の温度にならない場合があります。この場合は、温度調節ハンドルを手で回して温度を調節してください。



3. 流量の確認(発電タイプの場合)

1. センサー前に手をかざし、水を出す。
2. 流量が1.7L/分以上あることを確認する。
(目安: 500mlのペットボトルが17秒以内に満水)
3. 流量が1.7L/分以下の場合は**4. 流量の調節**を参照し、定流量弁を取り外して、使用する。



4. 流量の調節

機能部内部に、定流量弁を内蔵していますので、基本的には流量の調節は不要です。

止水栓は全開 でご利用ください。

ただし、圧力が低い場合や電気温水器とのセットにより、流量が不足する場合がありますので、下記要領にて定流量弁を取り外し流量を調節してください。

1. 開閉工具で湯側・水側の止水栓または元栓を確実に閉める。

2. ねじを外し、機能部カバーを手前に引く。

3. 止め輪を外す。

4. 発電ユニット (AC100Vタイプはホース継手) を取り外す。

5. ホルダーを外し、定流量弁を取り外す。

6. 発電ユニット (AC100Vタイプはホース継手) を元の位置に戻し、止め輪を取り付け、機能部カバーを取り付けてください。**止め輪の付け忘れに注意** してください。

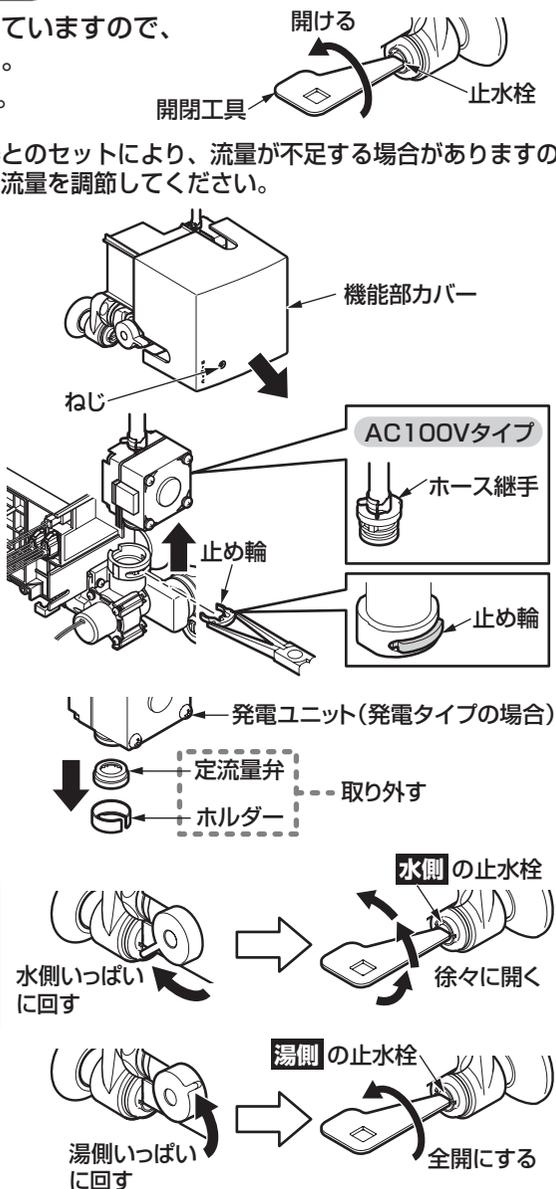
7. 温度調節ハンドルを水側いっぱいに戻す。

8. 水側の止水栓および元栓を開け、止水栓で流量調節をする。

発電タイプは一度止水栓を閉じてから徐々に開き、流量が1.7L/分以上になるように調節してください。(目安: 500mlのペットボトルが17秒以内に満水)

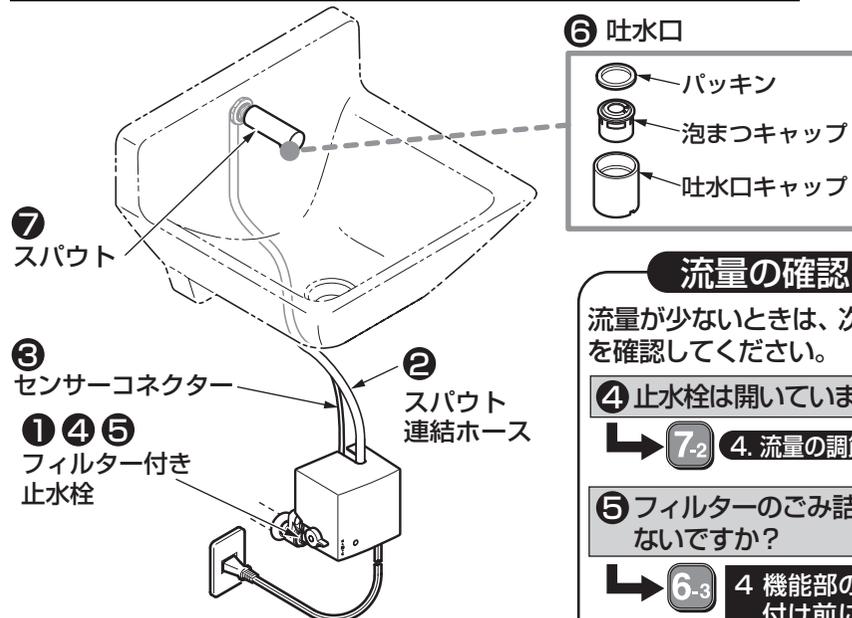
9. 温度調節ハンドルを湯側いっぱいに戻す。

10. 湯側の止水栓を全開し、吐水温度が42℃以下であることを確認する。



点検項目

取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。



流量の確認

流量が少ないときは、次の項目を確認してください。

4 止水栓は開いていますか?

➡ 7-2 4. 流量の調節 参照

5 フィルターのごみ詰まりはないですか?

➡ 6-3 4 機能部の取り付け前に

「給水・給湯管内の清掃」参照

6 吐水口のごみ詰まりはないですか?

➡ 吐水口の掃除をする。

ガタツキの確認

ガタツキがないか確認してください。

7 スパウトのガタツキはないですか?

➡ 6-2-2 「スパウトの取り付け」参照

水漏れの確認

水漏れがないか確認してください。

1 止水栓部の水漏れはないですか?

➡ 6-2-3 「給水・給湯脚の取り付け」参照

2 スパウト連結ホースはしっかり接続されていますか?

➡ 6-3-6 「スパウト連結ホースの接続」参照

コネクターの確認

コネクターがしっかり差し込まれているか確認してください。

3 コネクターはしっかり差し込まれていますか?

➡ 6-3-7 「コネクターの接続」参照

※同梱の取扱説明書などは、必ずお客様にお渡しください。